

まるで講義を聴いているかのように
理解して覚える
キャリアコンサルタント試験
問題集

キャリア魂塾

□□□□□問1 簡単(^^♪

「平成29年度能力開発基本調査」において公表された、キャリアコンサルティングを行うしくみ（以下「キャリアコンサルティング」という）の導入状況に関する下記の選択肢のうち、正しいと考えられるものはいくつあるか。

1. キャリアコンサルティングを導入している事業所は、ここ3年間、7割程度で推移している。
2. 産業別で見ると、キャリアコンサルティングの導入比率が最も高いのは、「運輸業・郵便業」である。
3. キャリアコンサルティングを導入している事業所が挙げる問題点の内訳として最も比率が高いのは、「労働者からのキャリアに関する相談件数が少ない」である。
4. キャリアコンサルティングの導入の目的として最も比率が高いのは、「労働者の自己啓発を促すため」である。

1. 正しいものはない
2. 1つ
3. 2つ
4. 3つ

1. 誤り：正社員に対してキャリアコンサルティングを導入している事業所は、直近で38.1%。**概ね4割前後**と覚えておけばよい。正社員以外に対して導入している事業所は直近で26.6%であり、概ね3割前後と覚えておく。そもそも7割もの事業所で導入されているなら、キャリアコンサルタントの知名度はもっとあるはず。
2. 誤り：産業別でみると、1位は金融業、保険業で80.3%である。なお、ここでいう「産業別」とは「産業分類」のこと。横断的に学習することで記憶が定着する。ちなみに、「キャリアコンサルティング」は、**通常どこで行われると思いますか？**「運送業・郵便業」って、従業員は社内にありますか…？「郵便業」はともかく、「**運送業**」や「**建設業**」では「**基本的に**」キャリアコンサルティング制度導入は進まない。**なぜならば「従業員が社内にはいない」**からである。
3. 正しい：「キャリアコンサルティングは今のところ労働者からのニーズがない」これが1位ということも「常識」の範疇。そもそも論として、
 - ①従業員が「キャリアコンサルティングを受けたい」と言い出せるか？
 - ②キャリアコンサルティング制度を知っている従業員がどれだけのいるのか？
 こう考えれば、ニーズとして出てこないことは当然であろう。だから「常識」。
4. 誤り：導入の目的の1位は、「労働者の仕事に対する意識を高め、職場の活性化を図るため」であり、本肢の項目は2位となる。

答：2

※正しいものは1つだが、正答は2。問題をよく読むこと！

PowerUP！キャリアコンサルティング導入事業所が挙げる問題点の内訳順位

1. 労働者の仕事に対する意識を高め、職場の活性化を図るため
2. 労働者の自己啓発を促すため
3. 労働者の希望等を踏まえ、人事管理制度を的確に運用するため
4. 新入社員・若年労働者の職場定着促進のため
5. 労働者の主体的な職業生活設計を支援するため
6. メンタルヘルス上の理由による 長期休業等の予防や職場復帰支援のため

→メンタルヘルス上の理由でキャリアコンサルティング導入は6位と振るわない。これも、「キャリアコンサルティング」に「メンタルヘルス対策や職場復帰支援」のイメージがないことが一般的だからである。

以上、「平成29年度能力開発基本調査」P21~P24を参照。

2019©合同会社インクルーシブ 著作権法違反は法律により罰せられます。